

電気設備のホールライフカーボン データベース 2024

(一社) 電気設備学会 地球環境委員会

<https://www.ieiej.or.jp/activity/environment/env.html>

注意事項

- ・本データベースの解説は、電気設備学会誌2024年12月号の委員会報告である「電気設備のホールライフカーボン検討ーデータベース整備2024ー」を参照ください。(ホームページにも掲載しています)
- ・本データベース「本表」のCO2排出量原単位、GHG排出量原単位の数値は、(一社)日本建築学会の建物のLCA指針のAIJ-LCA原単位データベースを引用しています。
- ・本データベースの著作権は電気設備学会が有します。許諾を得ず、無断での複製、転載、改変等は禁止されています。
- ・本データベースを利用した結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本データベースの内容は、2024年の調査期間のデータに拠っています。将来予告なしに変更する可能性があります。
- ・本データベースに関する問い合わせは、ホームページの「お問い合わせ」からお願いします。

「本表」凡例など

- 資機材項目(標準仕様書を参考)・数値コード
 - ・資機材項目は、「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和4年版」を参考に、使用頻度の高いものを抽出した。
 - ・数値コードは、E(電気)+編(2桁)章(2桁)節(2桁)項(2桁)+通し番号(3桁)とし、編章節項の番号は、標準仕様書に拠った。通し番号の付け方は任意とし、目が変わる場合、該当の質量DBの複数枚になる場合などに用いる。
- CO2排出量原単位、GHG排出量原単位
 - ・行コード・行部門名称およびCO2排出量原単位、GHG排出量原単位はAIJ-LCA原単位に拠る。
 - ・(学会独自)と記載したCO2排出量原単位、GHG排出量原単位には本委員会で整備したデータを示す。
- 数量の係数
 - ・附属品率、雑材料の出典は下記による。
 - ・E:建築コスト管理システム研究所「公共建築工事積算基準(令和3年版)」
 - ・RE:積算研究会「参考歩掛り(令和3年版)」
 - ・独:本委員会で整備したデータを示す(ケーブルラックに関する注記参照)。
 - ・例)E1101→積算基準のE1-1-1表。
 - ・ケーブルラックの耐震固定による割増は本委員会検討結果を附属品率として記載した。
- 更新周期・修繕率など
 - ・①建築物のライフサイクルコスト(令和5年版)、②建築物のライフサイクルマネジメント用データ集(2020年版)などの費用データから、本委員会の独自調査も加えてデフォルト値を設定した。
- 質量例
 - ・出典は以下とする。
 - 不要:単位物量当たりの排出量原単位の分母☆が台、亘長などで、機材全体の質量データが不要なもの
 - 規格:JISなど規格に質量の記載があるもの
 - C1:製造者カタログに記載があるもの(一般的な非住宅建築工事に必要なデータを網羅的に引用)
 - C2:製造者カタログに記載があるもの(いくつかの製品質量の例示を示すに留まったもの)
 - H1:製造者ヒアリングによるもの(一般的な非住宅建築工事に必要なデータを網羅的に引用)
 - H2:製造者ヒアリングによるもの(いくつかの製品質量の例示を示すに留まったもの)
 - 独自:委員会で独自に検討したもの(他学協会との連携を含む)

「別表」凡例など

- 数値コード・品目・種類等
 - ・「本表」に同じ
- 出典・整備方法
 - ・「本表」質量例による。
 - ・必要に応じて、表下部に注記を加えている。